



第 38 号

2018 年 5 月 1 日

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



鳥は自由だ！

いのち え だ し
絵・井上 忠司

愛知県生れ。文化学院デザイン科卒業後、グラフィックデザインの世界へ。食品関係・洗剤関係の仕事を経てパッケージのアートディレクター（AD）になる。リタイア後に趣味で始めたバードウォッチングにはまり、10 年間鳥の絵を描いてきました。さんしょうのご利用者です。



2018 年度職員全体会議を開催 (4/5)



さんしょうでは書道教室が注目



麻雀もやっています



河原塚の歴史にもとづく創作紙芝居を鑑賞。右下写真の一番右が作者の年中澄江さん。



第14回地域交流カフェを開催

“とっても、楽しかった！”

第14回地域交流カフェが4月17日に行われました。幸樹会の釣り師が釣って来た珍しい黒むつの煮付け、「凄いなあ〜、美味しいよ、これは、滅多に口に出来ないよ〜」と、お声が聞こえました。あじのムニエル、竹の子ご飯、山菜の天ぷら等、皆さんで頂きました。



関さんによる気功



佐藤さんの合唱団紹介

竹の子ご飯は、薄味で美味しいとおかわりされていました。山菜の天ぷらも、普段は、なかなか味わえないと喜んでいただきました。

座って行方気功、松戸の昔話の創作紙芝居、朗読で楽しませていただきました。紙芝居では、昔の河原塚のお話が聞けて、河原塚に親しみがわいて来ました。そのあと、介護保険制度の活用劇や「若者たち」を皆さんで歌いました。

次回の地域交流カフェは、6月19日です。皆さんのご参加お待ちしております。(山本弘美)

「居酒屋のぶ」が「特別開店」

今回の地域交流カフェでは、「さんしょうで居酒屋をやりたい」と語っていたご利用者・助川信弘さんの「居酒屋のぶ」が実現し



▶なまこを捌く助川さん

ました。肴は、赤なまことアジの刺身です。初めてなまこを食べた方が



多く、「なまこを初めて食べました。見かけによらず美味しいですね」との感想が聞かれました。



「本当は、なまこを一晩漬けてもっと味をしみこませたほうが美味しいんだよ。ゆずを薄く切って香り付けするとさらにいいよね」「今度は、貝類をやる？ホタテなんかどうかな。安くないけど、ヒモも使えるし捨てる場所がないよ。あしらいにウドを使おう。細く切ってホタテに付け合せると美味しいよ」と、次回にむけて構想を練っている助川さんです。

(中野三代子)

訪問看護

の ところ

あんず訪問看護ステーション・板垣 信子

最近、私と同じ世代の利用者で、がんの末期、筋肉に力が入らない難病もかかえている方のケアに関わりました。子どもが幼少期に離婚し、一人で生活をされてきました。ご本人も幼少期から生活上の苦労を経験、誰にも迷惑をかけたくない気持ちが強く、今まで生活した土地から離れ、アパートに一人で生活をされていました。



一人での在宅生活でしたが、病状が悪化し私たち訪問看護師の関わりが始まりました。当初は、ケアの受け入れもしてもらえず、世間話等だけの対応しかできませんでした。病状が悪化し、好きな食べ物も買いに行けず好きな料理も作れなくなる中、ケアマネジャー等と生活できる方法やあ入院を検討しました。ご本人は今までできた生活が出来なくなることへの不安が強く、まだ病気の受容もできずにいました。

次第に在宅生活が困難になり、結局入院となりましたが、その間にご利用者と向かい合い、人生の振り返り、病気受容への気持ち、息子さんへの思いなども理解することができ、人生観にも触れることができました。訪問看護師として、一人の人間として色々と学ばせて頂きました。

今後、私たちの同世代にも在宅での生活を希望される利用者が多くなると感じます。在宅で療養される方は、病気や病状、生活・人生、年齢もさまざま医療処置や療養上の世話やリハビリなどケア内容も多岐にわたっています。訪問看護師は、病状の変化に対して医療的ケアや生活する上で様々なサポートをさせて頂いています。利用者の皆さまが、その人らしい生活ができる支援をと思っています。

新入職員の紹介です

♥薬剤師・堀口由紀子

4月よりからたち薬局の薬剤師として入職しました。心あたたまる幸樹会で勤務させていただき大変嬉しく思っております。薬学の専門知識の積み重ねはもちろんのこと多種多様の患者様対応、特に高齢者医療に対し地域の薬剤師として活躍できるよう一日も早く慣れ向上心をもってさらなる介護医療連携を目指し頑張ります。ご指導よろしくお願い致します。



♥薬剤師・有木 祐里



約一年のブランクを経て、からたち薬局の薬剤師として、今年の3月から復帰しました。患者さまの立場にたって考えることを大切にしていきたいと思っております。

そして、処方箋の有無に関わらず、気軽に立ち寄って相談していただける薬局・薬剤師になるよう努力していきたいです。

カフェオレとチーズケーキ、そして餃子が大好き。よろしくお願いします。

♥薬剤師・座間真奈



からたち薬局で1月から働いています。短時間の勤務ですが、一日も早く仕事に慣れ、スタッフの方々、患者様のお力になれたらと思っています。

よろしくお願いいたします。

♥看護師・鮎川 一美

新入職員オリエンテーションに参加して、私は初めて幸樹会創設や、連携先の鼎会三和病院開設の経緯を知りました。様々な困難の中、自分たちの理念を掲げて行動を起こしたこと。また、それを支援する方々の賛同と協力、また三和病院の病床許可に当たっては署名が二万人以上も集まったこと。大袈裟かもしれませんが、胸が熱くなり感動しました。一つ一つの小さな力が集まって大きな力となり、みんなで夢を実現していく。私も小さな力ではありますが、皆さんと共に幸樹会を支える一つの力になりたいと思いました。



♥看護師・沼 さおり

初めまして。北海道で生まれ育ち、松戸に引っ越してきてから9年経ちました。まだまだ、場所が分からずに道に迷うこともありますが、ナビを頼りに皆さんの自宅を訪問させていただきたいと思います。私はバイク通勤をしています。ワイルドに見えますが、通勤だけでツーリングなどしたことはありません…。まだまだ分からない事がありますが、よろしくお願いいたします。



♥居宅介護支援専門員・岩橋多恵子



はじめまして。4月にあんず居宅介護支援事業所に入職しました。幸樹会の地域に根付いた温かな取り組みや理念に魅力を感じ応募しました。ケアマネジャーとして5年経験してきましたが、医療的な知識が不足しています。幸樹会は薬局や訪問看護も併設されているので病気や薬のことなどもっと勉強していきたいと思います。利用者様の大切な人生の歴史や生活、思いを大切にしながら、ご自宅での生活のお手伝いができるよう頑張ります。

自宅も近いので、地域の皆さんもこの顔を見かけたら是非声をかけてください。これからどうぞよろしくお願いいたします。

自宅も近いので、地域の皆さんもこの顔を見かけたら是非声をかけてください。これからどうぞよろしくお願いいたします。

♥事務兼介護職員・高橋 直美

からたち薬局とさんしょうを兼任する事になり、薬局で働き始めて不慣れではありますが約一ヶ月がたちました。

今後はさんしょうでのお仕事となりますが、介護の仕事は初めてなので、何もわかりませんが皆様と早く溶け込めるように頑張りますので宜しくお願い致します。



「屋上ガーデンの野菜たち」 絵・武井和世

ホームページ

職員募集

幸樹会ホームページ、
職員募集のQRコード
です。ご利用ください。





デンマーク便り

ラスムッセン 京子

日本はゴールデンウィークという連休が5月には有りますが、今年のデンマークの5月というと昇天祭 (Kristi himmelfart) が5月10日、木曜日です。復活したキリストが天に昇って行かれる日です。復活祭から数えて40日目です。

そして5月20日、日曜日の聖霊降臨祭です。イエス復活後に聖霊が使徒たちに降臨したことを記念する日です。翌月曜日は法定休日です。キリスト教の教会暦で復活祭に次ぐ祭日の一つです。聖霊降臨のできごとは、キリストの復活のできごとから50日目、旧約の五旬祭の日起こったので、キリスト教信者にとってこのできごとを記念する日が聖霊降臨祭と成りました。『使徒行伝』の第2章にも書かれているように、この日使徒の説教によって、多くの人が洗礼を受け、キリスト者の共同体である教会ができたことを祝うものです。

この昇天祭に先立って、祈りの日 (Store bededag) があります。キリストが復活した後26日後の金曜日を1686年デンマークのクリスチャン10世によって作られた法定休日です。人々はキリストの復活を神に感謝する意味で祈ったといわれています。ローマカトリックの祝日の統合として導入されました。

ヨハン・フリードリッヒ・フォン・シュトゥルエンセー首相が権力を握ったクリスチャン7世の治世の間、1771年に行われた祝日改革で生き残った数少ない休日のひとつでした。この日は、春の様々なキリスト教聖人を称える多数の休日を個別に祝うより効率的な代替手段として導入されました。

大国であったデンマークは数々の戦争で領土を割譲し現在のような小国に成りますが、以前は、コペンハーゲンの市民と学生が休暇の前に夕方に街の城壁を散歩しました。コペンハーゲン大学の学生たちは、コペンハーゲンが攻撃されたとき、コペンハーゲンを守るために死亡した多くの学生を称えるためにこれを行っていました。

キリスト者の洗礼は幼児が天国に行けるように幼少の折に洗礼を受けさせます。堅信は聖霊の賜物によってさらに力づけられ、キリスト者として成人の使命を与えられるものとして洗礼と区別され、キリスト教への入信を完成させる儀式ですがこれが祈りの日に良く行われます。



さんしょう運営推進会議報告

4/17(火)、さんしょう運営推進会議をおこないました。ご都合悪く参加できなかった方が多かったですが、次回以降も継続して開催し、運営を改善していきたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。今回初めて参加した職員の感想を紹介させていただきます。

◆仲田三郎(兼務ケアマネジャー)

地域の方、地域包括の方、利用者の方などから、さんしょうに対する意見や感想などを色々と聞くことができ、大変参考になりました。看多機が地域に根付くことの大事さを改めて認識することができました。

◆沼 さおり(看護師)

利用者の方、ご家族の方、地域包括の方、地域の方などから、さんしょうに対する意見や感想などを聞き、改めて看護小規模多機能というこの施設の重要性、必要性を感じることができました。今後も、皆さんの意見を聞きながら、より良い支援ができるよう努めていきたいと思っています。



赤ちゃん誕生！

休業中の奥村万里子看護師に男の子・健冬(けんとう)くん、誕生しました。

おめでとう。

八柱学習会(定期勉強会)

●前回報告4月20日(金)。助言者 武井幸穂氏

テーマ：昨年度芥川賞受賞作・若竹千佐子著『おらおらでひとりいぐも』から。☞15人参加。「自身の内部の声“柔毛突起”とのやりとりなど、桃子さんの思考過程が面白い」「年をとるのは、悪くないなあ」。

▼次回学習会予定(定例日：毎月第3金曜日)

☞5月18日(金)、18:30～、

「認知症ケア」について

報告・あんず訪問看護ステーション看護師 高橋千夏子

場所：幸樹会館2階会議室《参加自由》

職員募集！非営利・働きがいある職場 看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり。
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550

今月の屋上太陽光発電量は、

1200KW



幸樹会館電力使用量 4060KW 自給率 29.6%